

# ブラックダイヤモンドスキン 取扱説明書

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

## 警告

スキーは危険を伴う行為です。その行為の前には起こりうる危険を理解し受け入れる準備をしておいてください。本人の責任において決断し行動を起こしてください。本製品をご使用になる前に取扱説明書に記載されている製品の使い方や警告文を全てお読みになり、製品の使い方や性能、限界について習熟してください。用具の正しい使い方のトレーニングを受けることを推奨します。この警告文の内容を守らなかった場合、死亡や重傷を負う可能性があります。

## STSSスキンのフィッティング

ステップ1：スキーの長さに合わせてカットする

- ◆STSS(スキン・タイト・システム)のクリップを4番目のポジションに掛けてテールに取り付けてください(図1)。
- ◆スキンのグルー面に貼ってある台紙を剥がしてください(図2)。
- ◆テールクリップがスキーテールの真ん中になっさり取り付けられていることを確認し、スキーをスキーの中心線に合わせて真っ直ぐピンと貼ってください(図3)。
- ◆付属のアジャスタブルティップループをスキーのトップに引っかけてください(図4)。
- ◆スキンがトップに引っかけたティップループの金属スリーブと重なる位置に印を付けてください(図5)。
- ◆印を付けた位置でスキーを長さ方向に対して直角に真っ直ぐ切ってください(付属のトリムツールでも可能ですが、はさみを使うと正確にカットできます)(図6)。

ステップ2：アジャスタブルティップループを取り付ける

- ◆ティップループをスキンの切り口にスライドさせて取り付けます。このときスキーがティップループに真っ直ぐ止まる位置まで収まるようにしてください。また、ティップループのスクリュー受け側がスキンのグルー面になるように取り付けてください(図7)。
  - ◆#2のプラスドライバーでティップループとスキーにスクリューを取り付けてください。このときスクリューの先が作業台に直接当たらないように注意してください(図8)。
- 注意：スクリューは軽く締め込むだけで十分です。締め込み過ぎに注意してください(規定トルク=0.56N・m)。
- ◆全てのスクリューを取り付けてください(図9)。
  - ◆全てのスクリューの飛び出ている先端をプライヤーで取り除いてください(図10)。

## カスタムSTSSスキンのフィッティング

- アセンションカスタムSTSSスキンは表示サイズの範囲内のスキーに取り付けることができます。あらかじめティップループがスキーに取り付けてあるので、ティップループ部分のトリミングや長さ調節のためにカットする必要がありません。ご使用になるスキーの長さに合わせてSTSSテールクリップで調節し、スキーからはみ出たスキーをスキーの幅に合わせてエッジが適度に出るようにトリミングしてください。
- ◆スキンのグルー面に貼ってある台紙を剥がしてください(図2)。
  - ◆ティップループをスキーのトップに引っかけてください(図3)。
  - ◆スキーをスキーのトップ側から中心線に合わせて真っ直ぐピンと貼ってください(図3)。
  - ◆スキーがピンと張るように、STSSテールクリップをラバーストラップの適正なスロットに取り付けてください。

## サイドカットに合わせてトリミングする。

- ◆スキーをスキーに対して約2mmオフセット(スキーエッジの幅)させて貼り付け、エッジからはみ出した部分を、トップからテールに向かってスキーエッジをガイドにしてサイドカットに合わせてトリムツールでトリミングしてください(図11)。
- ◆反対方向へ4mmオフセットさせて貼り付け、はみ出した部分をサイドカットに合わせてトリミングしてください(図12)。
- ◆ティップループ部ではみ出した角はスキーのトップ形状に合わせてトリミングしてください(図13)。
- ◆トリミングしたスキンのテールアタッチメントをスキーの真ん中に取り付け、スキー中心線に合わせて貼り直してください。トリミング後のスキーはスキーよりも約4mm狭い幅、スキーの両エッジが全て露出する幅に仕上がります(図14)。

## ティップループの調節

- ◆重要：ティップループをスキーに取り付け終わるまで、またはティップループのプレートがスキーをしっかりと挟み込んで動かさない状態になるまでは、ティップループの調節はしないでください。
- ◆ティップループがスキートップの適正な位置に来るように必要に応じて幅の調節をしてください(図15)。
- ◆ケーブルループをスキーの方に倒し、金属スリーブをスライドさせ、ケーブルループのフリーになっている方の末端だけを新しいソケットに移動させてください。固定されている末端はスキーの左側にあります(図16、17)。
- ◆フリーの末端を新しいソケットに移動させたら、スリーブを固定される位置までスライドさせて戻してください。
- ◆ケーブルループが左右対称になるようにケーブルエッジプロテクターをスライドさせてください。ケーブルエッジプロテクターはケーブル上で引くよりも押した方が簡単にスライドさせることができます(図18)。
- ◆ティップループをスキートップに装着し、適正位置であることを確認してください。必要に応じて上記の手順で再調節してください。
- ◆ティップループの調節量によっては、テールクリップの位置も調節してスキーがピンと貼れるようにする必要があります。

## キッカースキン

- ◆スキンの台紙をはがし、スキーのキックゾーン部分にまっすぐ貼り付けてください。ワックスレススキーをお使いの場合、スキーの後端がワックスレスパターンの後端よりも2.5cm後ろになるように貼り付けてください。これは、スキー後端が滑走面の平らな部分に装着できるようにするためです。
  - ◆ストラップをスキー上面に直し、カムロックをしっかりと締めてスキーのスライダプレートとスキー滑走面がずれないようにしてください。
- アドバイス：スキー後端の角を丸く切ることでスキーを剥がれにくくすることができます。

## チートシート

チートシートを使うことにより、ただ単にスキーを剥がしやすくなり、長期保管時にグルーの粘着性を保つことができます。スキーを保管するときは常にチートシートを間に挟んで、乾燥した涼しい場所に保管してください。長期保管後は氷点下の場所ではなく、室温でスキーをチートシートから剥がして下さい。

スキーを高湿の場所にさらすと、グルーが柔らかくなってチートシートに付着してグルー表面が傷むことになります。

- 1.製品に付属しているチートシートを半分長さで切ってください。片方のスキンに対して、半分切ったチートシート1枚を使用します。
- 2.チートシートをスキーの前半分または後半分に貼り、チートシートを挟むようにスキーを二つ折りにしてください。

## スキンの取り扱い、および保管上の注意

- 1.フィールドでスキーを収納する場合は、スキーを真ん中から二つ折りにして両サイドがぴったり重なるようにグルー面を貼り合わせてください。貼り合わせずに別々に保管すると接着力が低下します。
- 2.長期保管するときは、スキンの接着面の間にチートシートを挟んで二つ折りにしてグルーの粘着性を保護してください。スキーが汚れないように付属のスタップバッグに入れて保管してください。長期保管後、最初にチートシートを剥がすときはスキーを室温に戻した後行ってください。
- 3.スキンのグルー面に雪などが付着しないように取り扱ってください。
- 4.フィールドでは行動終了後、できるだけスキーを乾燥させてください。火の上やストーブ、熱源の近くでの乾燥は絶対しないでください。
- 5.スキーを貼る前にスキー滑走面を布で拭くなどして水分や汚れを取り除いてください。
- 6.スキンの滑走面に凍り付きや雪の付着が見られるようになったら、ブラックダイヤモンド・フリーグライドスキンスケアまたはブラックダイヤモンド・グロブスツーパーワックスを塗ってください。
- 7.スキンの接着剤を塗り直す際はブラックダイヤモンド・グルーリニューをご使用ください。
- 8.気温が極端に低いとスキンの接着力が低下します。ジャケットの内ポケットに入れるなどして携帯すると、体温で暖まり接着剤の性能を保つことができます。

## 限定付き製品保証

ブラックダイヤモンド・イクイップメント社は、第一購入者に限りご購入日から1年間、製品の品質および製造上の欠陥に対して無償で保証をいたします。ヘッドランプはご購入日から3年間です。欠陥が発見された場合はご購入店もしくは輸入代理店(住所は末尾に記載)へご返品ください。製品を無償修理または新品交換いたします。無償修理と新品交換を製品保証の限度とし、保証期間の終了をもって製品保証の責務も終了するものとします。ブラックダイヤモンド・イクイップメント社はずべての保証請求に対して、第一購入者であることの証明を求める権利を有します。

## 保証の除外事項

ブラックダイヤモンド・イクイップメント社は通常の消耗や摩耗(例：スキーエッジの減りや傷、ブーツソールの摩耗など)、製品の改造や改変、誤使用、誤ったメンテナンス、事故、過失、強い衝撃、あるいは製品の目的外使用に対して保証は適用いたしません。

ブラックダイヤモンド日本総代理店

## 株式会社ロストアロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市御折1386-6  
TEL：049-271-7113(ユーザーサポート)  
e-mail：info@lostarrow.co.jp  
www.lostarrow.co.jp

